PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
東北センター
2026 年 8 月吉日

秋田県五城目町での学びを世界へ

～JICA 海外協力隊候補生が地域実習の成果を最終報告～

JICA 海外協力隊派遣前の地域実習である「JICA 海外協力隊グローカルプログラム」を、五城目町で実施しています（実施期間：6 月 15 日～8 月 28 日）。

本プログラムは、地方自治体や地域が取り組む地方創生や地域づくりの実践的な知見を学ぶとともに、その後派遣される国において、それらの経験を活かした効果的な活動につなげることを目的としています。また、実習生が地域と世界をつなぐ役割を担うとともに、地域との継続的な関わりも期待されています。実習生は約 2 カ月半にわたり、五城目町内の受入先団体や地域住民の皆さまと関わりながら、地域づくりや地域活性化に取り組んできました。

このたび、実習期間の集大成として最終報告会を開催します。報告会では、実習生が五城目町での活動を通じて得た学びや成果、地域との関わりの中で感じた課題や魅力、さらには今後派遣先国でどのように経験を活かしていきたいかを発表します。実習生は本プログラム終了後、それぞれの派遣国へ赴任し、五城目町で得た経験を活かしながら、地域と世界をつなぐ架け橋として活動することが期待されています。つきましては、以下のとおり最終報告会を開催しますので、ぜひ取材をご検討ください。

《　JICA 海外協力隊グローカルプログラム最終報告会のご案内　》　＊敬称略

自治体	日時・場所	実習生（派遣国/職種/居住地）	実習受入先
秋田県五城目町	8 月 20 日（木） 13：00-14：30 五城目朝市ふれあい館	太田　周作　（カンボジア / 司書） 大西　拓也　（ボツワナ / コミュニティ開発） 橋本　珠和　（ペルー / ソフトボール）	一般社団法人 ドチャベンジャーズ

現地取材をご希望の方は、以下にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 東北 市民参加協力課　担当：清水
TEL　022-223-4772　e-mail：jicathic-jv@jica.go.jp

裏面に続く→

【参考】「JICA 海外協力隊グローカルプログラム」とは？

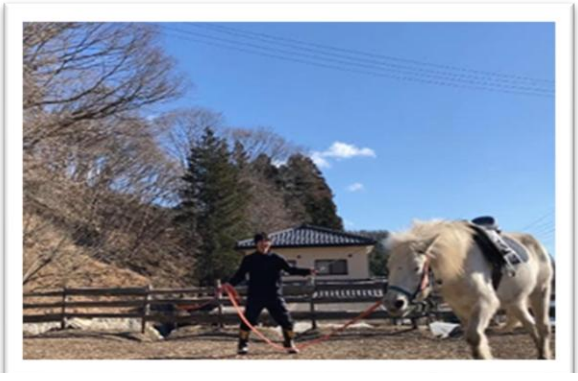
- JICA 海外協力隊合格者のうち、帰国後も日本国内の地域が抱える課題解決に取り組む意思を有する希望者を対象に、海外に派遣される前に自治体等が実施する地域活性化、多文化共生等の取組みに OJT として参加する「グローカルプログラム（派遣前型）」を実施しています。
- 約 70 日間の岩手県・秋田県での実習を通じて、自治体や地域の関係団体・企業等による地域活性化への挑戦や取組みを知り、海外での協力活動における有益な実務経験や知見を得ることも目的としています。

※JICA 海外協力隊は、開発途上国に派遣され、現地の人々とともに途上国の課題解決に取り組みます。任期は原則 2 年間で、1965 年から現在まで世界 99 カ国に延べ 5 万 8,000 人以上の隊員を幅広い活動分野で派遣しています。

【東北地域で実施するグローカルプログラム紹介（岩手県での実施分含む）】

【岩手県遠野市】県外からの実習生たちが伝統芸能の神楽に挑戦し、地域活性化への取り組みを学ぶ。遠野祭りにて披露。

【岩手県陸前高田市】広田湾の牡蠣（地元産業）の活性化の取り組みを経験。



【岩手県釜石市】馬の力に頼りながら子どもの成長を支援するホースセラピーを活用する為に、馬を知る第一歩となる調馬索（馬の運動）。

【秋田県五城目町】地元の中学生へ開発途上国の文化や生活を紹介し、異文化理解の大切さを共有する実習生。